

学校保健 実技研修会 終了報告

テーマ	「学校が避難所になったら？～備えと被災時の対応を考える～」	
日時	令和元年 8月27日(火)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	西澤 弘充 氏 (北広島市役所 総務部危機管理課 防災専門官)	
参加者	61名	
研修会 の 様子		<p>1. 最近の災害・避難所について</p> <p>避難所開設の流れの説明や、学校が避難所となった際、保健室・養護教諭に期待される動きなどを学びました。例として、児童生徒の安否確認や健康観察、心のケア、避難所の衛生管理や感染予防活動が考えられること、そしてなによりも子どもの体や心を丁寧に看ることができる大人としてほしいということでした。</p>
		<p>2. 避難所運営ゲームHUG 北海道版「DOはぐ」の体験</p> <p>学校の体育館が避難所になったことを想定して、プレイヤー(参加者)が、災害時要援護者へ配慮をしながら、部屋割りや生活空間の確保、避難所のルール等を、意見を出し合いながら運営するゲームを体感しました。</p>
		<p>3. 様々な避難者を、どの部屋や場所に配置するのか</p> <p>車で避難してくる人、乳幼児のいる家族、足腰の悪い老夫婦、ペットを連れてくる人、インフルエンザの疑いの子どもなど、様々な人が次々と避難所に来る中、参加者は、どの部屋や場所に避難してもらうか話し合いました。参加者は、立ち上がり、熱く意見交流をすすめていました。</p>
		<p>4. 感想として</p> <p>「今まで考えたこともない内容で、大変有意義であった。」 「避難所開設の難しさがよく分かった。」 「Doはぐをもっと体験したかった。」 「学校が避難所になる際のイメージが具体的になった。」 「養護教諭としてどのように動けばいいのかわかるようになった。」 「シミュレーションすることができた。」 など、養護教諭として、自治体職員と協力できる避難所運営について学ぶことができた研修となりました。</p>

